

8-3 近畿地方の地殻変動 Crustal Movements in the Kinki District

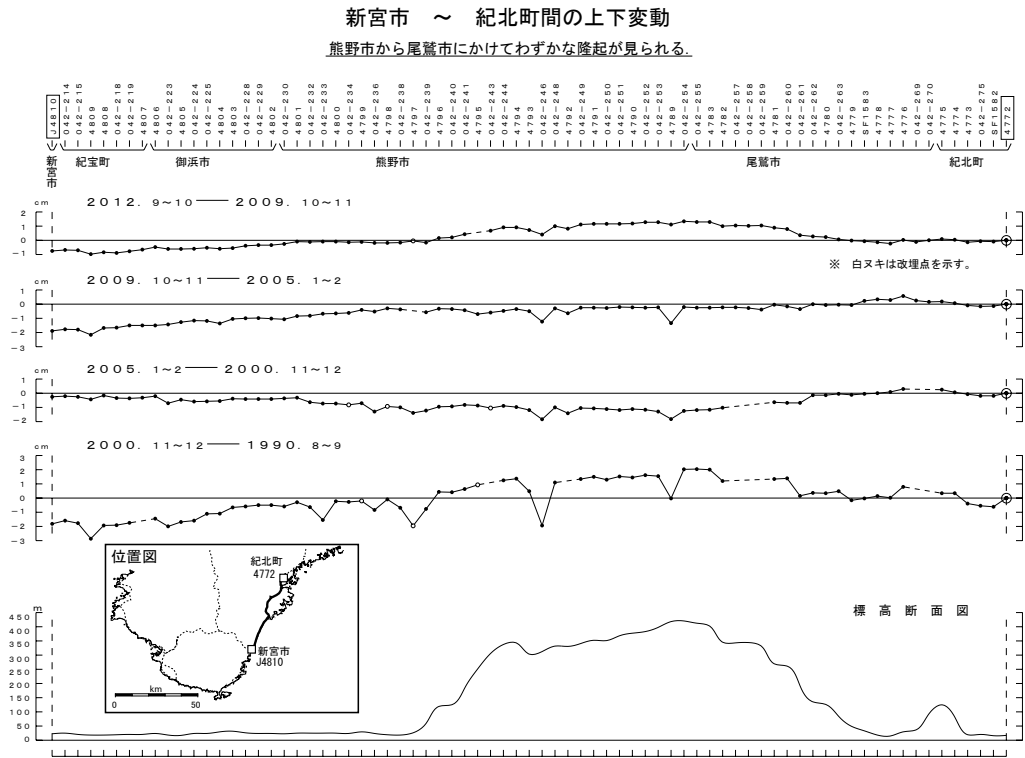
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

[水準測量]

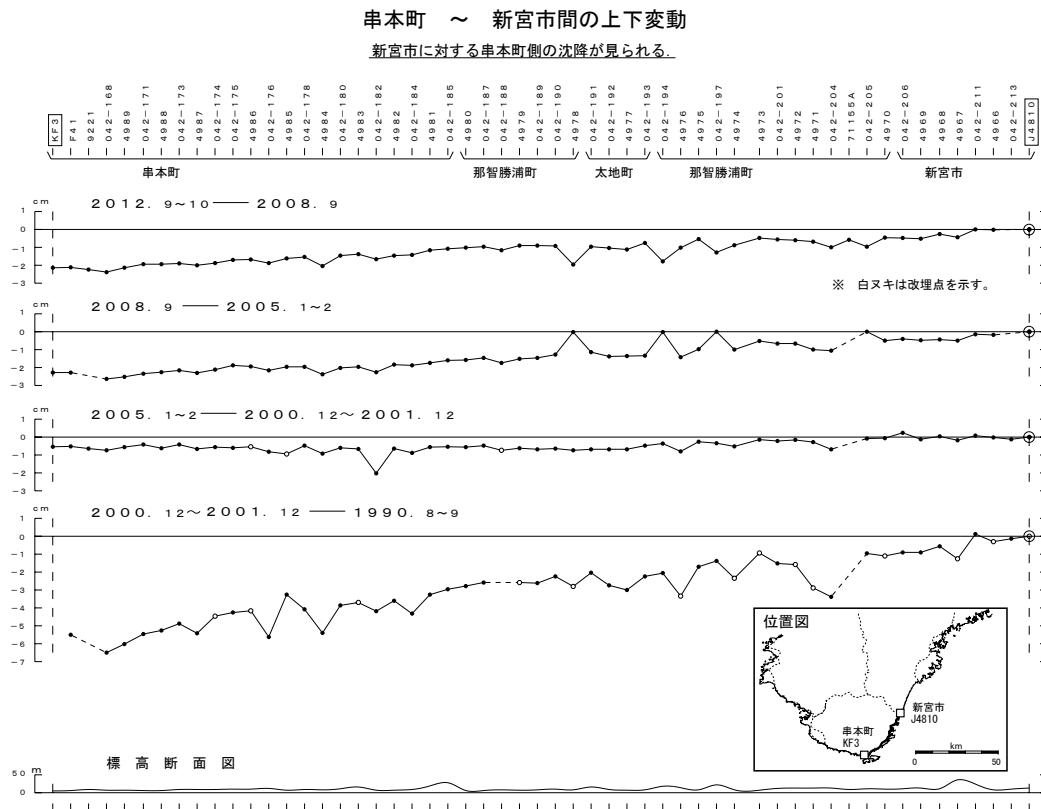
第1図は、和歌山県新宮市から三重県紀北町に至る路線の水準測量結果である。熊野市から尾鷲市にかけて、紀北町に対するわずかな隆起が見られる。

第2図は、和歌山県串本町から新宮市に至る路線の水準測量結果である。新宮市に対する串本町側の沈降がみられる。

第3図ページは、紀伊半島東岸の上下変動について、紀北町にある4772を固定し、1931年からの経年変化を示す図である。1944年東南海地震及び1946年南海地震をはさむ期間とそれに引き続く期間に紀伊半島先端部が大きく隆起し、1980年代以降は、長期的に半島先端部の沈降が継続していることがわかる。なお、2000年の位置にプロットされているデータのうち、4969以南の水準点の変動の計算には、2001年の測量結果が用いられている。



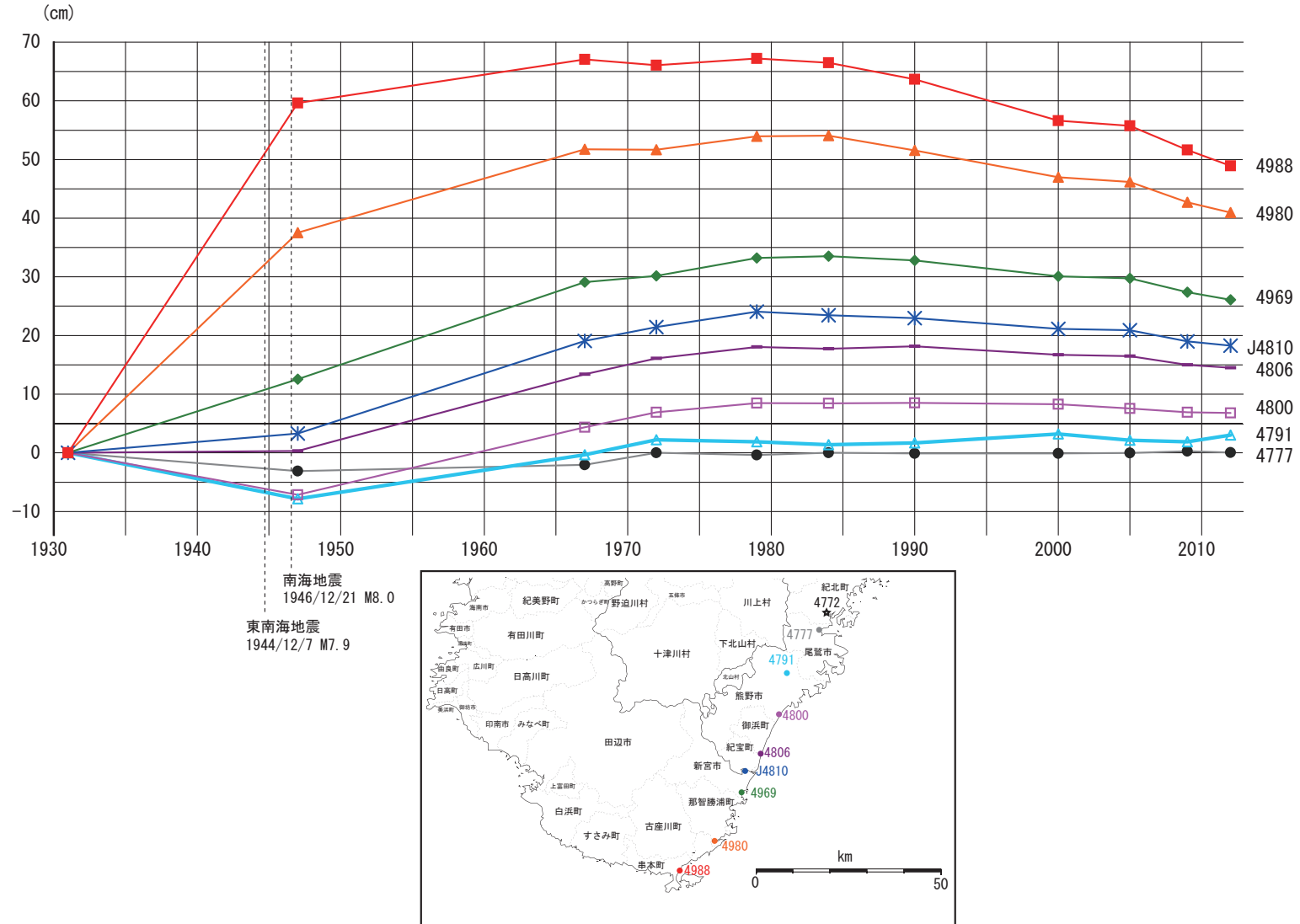
第1図 水準測量による新宮市～紀北町の上下変動
Fig. 1 Results of leveling survey from Shingu city to Kihoku town.



第2図 水準測量による串本町～新宮市の上下変動
Fig. 2 Results of leveling survey from Kushimoto town to Shingu city.

1931年を基準とした紀伊半島東側各水準点の経年変化（4772固定：紀北町）

1980年代以降から半島先端の沈降が続いている。



第3図 紀伊半島東側の水準点の上下変動経年変化（1931年度基準・4772 固定）

Fig. 3 Time series of vertical movement from 1931 on the benchmarks along the leveling route in eastern Kii Peninsula referred to 4772.